

# 環境にやさしく、安全な針なしステープル対応

- 独自開発の針なしユニットをフィニッシャーに搭載。用紙に穴を開けない用紙圧着方式を採用。
- 最大で10枚まで対応し、1か所留め、2か所留めから選択が可能です。  
用途にあわせて、針なし/針ありステープルを使い分けて利用することができます。

## 針なしステープル



1か所  
留めに対応

従来からの針ありステープル機能も搭載  
しています

80g/m<sup>2</sup>以下  
10枚

最大  
A3

最小  
A5ヨコ

用紙坪量  
64~105 g/m<sup>2</sup>

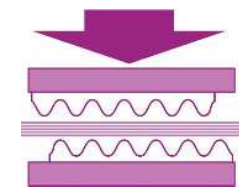


2か所  
留めに対応

従来からの針ありステープル機能も搭載  
しています

## 独自開発の針なしステープルの技術

最大  
10枚



- ユニットの金属版は厚みのあるものを採用し強度を向上しています。
- 他社とは異なる加圧機構を用い、歯型と加圧バランスを最適化することにより最大10枚とじを実現しました。
- 2~10枚をとじるための歯型を最適化しました。

## 針なしステープルのメリット

- 環境面での一般オフィスでのご利用はもちろん、金属針を使用しないため、安全性の観点から子どもの怪我に注意が必要な「保育園」、「幼稚園」「学校」「塾」、また、異物混入に注意が必要な「食品業界」「給食室」「病院」などに最適です。ステープル針が不要で、交換作業/消耗品購入/在庫管理がなくなります。
- ステープル済みの用紙を重ねても、針ありに比べて厚みが出ません。
- ステープル針が不可のシュレッターにも利用できます。
- 針ありステープルに比べ、簡単にはがすことができます。クリップなどの消耗品を使わず仮留めしたり、ステープルしたものをはがして、プラテンでコピーしたり、スキャンすることも簡単にできます。



針なしと針ありステープル処理された  
出力物を重ねた時の比較



針なしステープル

針ありステープル